

RFMDニュース

会社連絡先:

RF Micro Devices Inc.
Brian K. Cockman, Public Relations Specialist
7628 Thorndike Road
Greensboro, NC 27409-9421, USA
電話: +1 (336) 678-8945
bcockman@rfmd.com



rfmd.com

RFMD社、POLARIS™ 3 TOTAL RADIO™の生産を開始

POLARIS™ 3 は最高レベルのRF機能を提供する

ノースカロライナ州グリーンズボロ、2007年7月26日: 移動通信駆動用各種アプリケーション向け高性能無線システム/ソリューションの設計、製造で業界をリードするRFMD社(ナスダック: RFMD)は本日、顧客からの受注に対応し、POLARIS™ 3 TOTAL RADIO™ RFシステムソリューションの量産を開始したと発表した。RFMD社のPOLARIS 3は完全に統合された4バンドEDGE RFソリューションで、他に例のない最高レベルのRF機能を提供する。POLARIS 3の出荷は2007年9月四半期からの予定で、それに続く2008年の1年間生産量が拡大すると見込まれている。

「POLARIS 3の量産開始は、何年もかけた技術開発の成就を意味しています。ここに業界最高の集積度を誇るRFシステムソリューションの大量生産に必要な設計、製造、パッケージングの能力がすべて結集されました。当社のPOLARIS 3 RFソリューションを採用する携帯端末メーカーは、複数の端末や市場階層向けに短時間、低コストで高性能なシステムインパッケージ(SiP)RFシステムの実装が可能になります。RFMD社は携帯電話用RF部品のグローバルリーダーで、お客様の競争力向上に役立つよう常に技術やリソースへの投資を継続しています。」とRFMD社の社長兼CEOボブ・ブラッグワースが語る。

「POLARIS 3は、トランシーバ、パワーアンプ、フィルタ、送受信スイッチなどを配置が容易な2個のモジュールにまとめ高度なRFシールド技術でシールドした、携帯電話RF部の必須機能をすべて満足する高集積度システムインパッケージ・ソリューションです。完成したPOLARIS 3は最新のソリューションと比較してもRF部分の面積が半分になるため携帯端末メーカーにとってはプラットフォームの柔軟性や使いやすさが向上し、同時に小型化、低コスト化、高性能化を図ることができます。」とRFMD社のセラミック製品グループ担当副社長エリック・クレビストンは語る。

RFMD社のPOLARIS 3は完全なRFソリューション。その特長は集積度の高い無線送受信モジュールで、これにはシングルチップのCMOS EDGEトランシーバや水晶発振器、必要とされる受信フィルタ機能がすべて含まれている。またこのソリューションにはパワーアンプや送受信スイッチなど、RFMD社が業界をリードするフロントエンド技術が豊富に含まれている。最後に、この画期的なPOLARIS 3 RFソリューションにはRFシールドが内蔵されており、特許申請中の内蔵RFシールド技術が生かされている。

POLARIS 3の実装では携帯電話の基板にコストが高く厄介な金属シールドが不要になり部品配置が約80%も削減されるため、サイズと高さが大幅に節約できる。

RFMD社は携帯電話端末用フロントエンドの業界リーダー。POLARIS 3の立ち上げにより、同社の携帯電話向けRFソリューションの中でその金額比率が高まる。特に、RFMD社のPOLARISソリューションはEDGE携帯電話用フロントエンドの金額比率を約3倍にすると予想される。

RFMD社について RF Micro Devices, Inc. RFMD社(NASDAQ RFMD)は移動通信の主要アプリケーション向けに高性能な無線システム/ソリューションの設計、製造を行う会社で、この業界のグローバルリーダー。RFMD社のパワーアンプ、送信モジュール、携帯電話用トランシーバ、およびシステム・オン・チップ(SOC)ソリューションは現在および次世代の携帯端末、基地局、無線ローカルエリアネットワーク(WLAN)、無線パーソナルエリアネットワーク(WPAN)、全地球測位システム(GPS)などの最新機能をサポートし、全世界的なモビリティの向上と接続性の拡大に寄与するもの。最先端の半導体技術による幅広い製品ラインと無線システムの豊富な経験で定評のあるRFMD社は、現在および将来の市場要求を満たす最新無線機能のサプライヤーとして、世界中の主要な移動通信機器メーカーから選ばれている。

ノースカロライナ州グリーンズボロに本社を置くRFMD社はISO 9001およびISO 14001の認証取得済みのメーカーで、世界各地にエンジニアリング、設計、販売、サービスの拠点を持つ。RFMD社はRFMD 銘柄で米ナスダックグローバルセレクト市場に上場しています。なお詳しい情報はRFMD社のホームページ、www.rfmd.comに紹介されている。

このプレスリリースには、1995年米国私募証券訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act)がその免責条項として定める「将来的な予測」が含まれています。この「将来的な予測」には当社の計画、目的、説明、主張などについて、またはそれ以外についての記述が含まれていますが、これらの記述は歴史的な事実ではなく、通常は「可能」、「必要」、「予測」、「期待」、「予定」、「計画」、「推測」、「確信」、「推定」、「予想」、「可能性」、「継続」などの用語や類似の用語とともに使用されています。またこれらとは別の表現で「将来的な予測」が記述される場合もあります。この文書に含まれている「将来的な予測」の記述は現時点における経営陣の判断や期待を表していますが、実際の成果や出来事、業績などはこれら記述で表現されたり暗示されたりした内容とは実質的に異なる場合があります。当社は米国連邦証券取引法により要求される場合を除き、これら「将来的な予測」の記述内容を改訂したり、あるいはその記述の改訂を公表したりする意図を持っていません。RFマイクロデバイス社の事業には多くのリスクや不確実性が内在しており、その内容には四半期毎の経営成果の変動、無線関連市場の発展や成長率、ウェア製造施設、分子線エピタキシー施設、組み立て施設、試験、テープ、リール施設など各種製造施設の稼働に関するリスク、熟練技術者や開発リーダーを採用・確保する当社の能力、生産歩留りの変動、革新的技術によりコストを削減し正味利益率を改善する能力、新製品を市場に投入する能力、顧客の在庫センターを通して行う委託販売への依存性、製品需要に即応したタイムリーな生産能力の調整を行う能力、限られた顧客への依存性、サードパーティへの依存性などが含まれています。上記以外も含むこれらリスクや不確実性については米国証券取引委員会の様式10-Kに従ったRFマイクロデバイス社の最新アニュアルレポートの中で説明されていますが、このような不確実性のため、これら記述の表現や暗示による内容と実際の成果や出来事、業績とは実質的に異なる場合があります。

RF MICRO DEVICES® およびRFMD®はRFMD, LLCの商標である。その他の商品名、商標、登録商標はそれぞれの所有者の財産である。

###